



北海道医歌人会詠草

ロシアブラ

札幌 浜島 泉

ウド採りの丘に来て摘むロシアブラ 名うての奨め物は試しと
山菜のシーズンなるも 休日の用務と雨に不首尾となりつ
夕食にデザート用のフルーツが欠如してをり 続く雨にて
プロ野球はなされ中継終了す 翌朝聞くに逆転サヨナラ
離れて丘登り来しカルガモは 車を恐れ引き返さんか

DEATH

釧路 兎玉 昌彦

やさしげに微笑む写真の想い出を家族に残し旅立ちし人
「どうして」と「なぜ」との間に限りなく振れる気持 死という不条理
「本懐を遂げし」と書くも反語めく 無念を秘めた死亡広告
「これからの齢だったのに」と他人は言う 背負う重荷は余人には知れず
「死にたい」と言い暮らせし人いま逝けり 思い通りの終焉なりしか

嫁ぎ行くきみへ (2)

北広島 古屋雅三知

楚々として白き小さき花ぞある わが視界にそつと置きなむ
突然に嫁ぎ行かむと吾に告げしきみにしあれば憐ぞと思ふ
きみの居ぬ日が来ることをえ想はざり 去りてゆく日と路を消さばや
朝夕にきみ立ち居たる交差点 過ぎしを偲び一人佇む
この次は如何なる姓にならむとぞ問ひ待つらむきみ還る日を

新涼

函館 水関 清

簾巻き 暑き一日締めくくる 団扇の風と水飯の味
背後より迫る自転車 「Ride And Brake」 金髪なびかせ我抜き去りぬ
オーブンデッキでひとり飲む ソーダ水 小さな泡に海閉じこめて
終着は 明日の始発となりぬべし 日ごと日毎の列車の輪廻
秋刀魚焼く厨の裏で ひそひそと 猫集まりて作戦会議

卒寿

旭川 稲積 文子

白寿なる恩師を祝いし投稿文 今卒寿となりて読み返す吾
替え難き友を今見送りて 思いは尽きない夜行列車の中
ドラマ見て涙を滲ますことなんか 吾れにもありしか今気づきぬ
悔いのなき仕事に生きたと領きて 台所に立つおぼつかなき手先
言葉などわからぬ猫に語りかけ 尻尾を振りし顔のやさしさ

熱中症

江別 三宅 浩次

人間はか弱きものよ寒さにもまた暑さにも命奪わる
水も持たず畑仕事に炎天下熱中症で倒れし人あり
いただいた命を無駄にするなよと予防の知識広げてほしい
地球は今高温化へと進む中せめて己の命は守れ
高温化はわれらの責任防ぐのもわれらが工夫と嘯み締めよ